

2026 年 10 月 21 日

医学系研究の実施に関するお知らせ

研究課題名	成長期下顎前突症患者における機械学習を用いた外科的矯正治療要否予測モデルの構築	
研究責任者	歯科矯正学講座・主任教授・西浦 亜紀	
1. 研究の対象	2007 年から 2020 年の間に本学附属病院矯正歯科を受診された混合歯列期（成長期）の患者様のうち、下顎前突症と診断され、初診時および顎骨の成長終了後に行う矯正治療開始時にそれぞれの時期に側面頭部エックス線規格写真（横顔のエックス線写真）を撮影された患者様。	
2. 研究目的	成長期下顎前突症患者様の側面頭部エックス線規格写真から得られるセファロ計測値を用い、成長終了後に外科的矯正治療が必要となるか否かを予測する機械学習モデルを構築することが本研究の目的です。	
3. 研究方法	この研究では、過去に当院で矯正治療を受けた患者様の診療録および側面頭部エックス線規格写真を確認します。まず、矯正治療を始めた時の側面頭部エックス線規格写真を用いて、上顎と下顎の位置関係や、顎の骨格の特徴を調べます。また成長が終わった後に、手術を伴う矯正治療が必要になったかどうかを診療録から確認します。その後集めた情報を AI 機械学習ツールを用いて解析し、治療を始めた時点の顎の形から将来的な手術を伴う矯正治療の要否を予測することが可能かについて検討します。なお、この研究ではすでに撮影されたエックス線写真や診療録の情報を使用するため、患者様に新たな検査や治療をお願いすることはありません。	
4. 研究期間	2026 年 10 月 16 日から 2029 年 3 月 31 日	
5. 研究に利用する 試料・情報の種類	(1)試料	本研究で用いることはありません。
	(2)情報	カルテに記載された性別、年齢、側面頭部エックス線規格写真、治療法等
6. お問い合わせ先	担当者	大阪歯科大学・歯学部・歯科矯正学講座 主任教授 西浦 亜紀 大阪歯科大学大学院・歯学研究科(歯科矯正学専攻) 大学院 2 年 吉田 優
	住 所	〒540-0008 大阪府中央区大手前 1 丁目 5 番 17 号 大阪歯科大学附属病院 10 階
	電 話	06-6910-1089

本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、上記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。